

令和2年度 学校・園便り

December



12月23日発行

つばき

笑顔いっぱい 感動いっぱい 夢がふくらむ

～ウミネコとカノコユリと恐竜の里～

薩摩川内市立鹿島小学校

電話 4-2004

かこの幼稚園鹿島分園

電話 4-2424



感動いっぱいの教育

校長 東條 睦宣

校長先生、今朝の山の色は、『テングサ(天草)色』です！

朝のあいさつを終えた子どもたちが、正門前でこう話しかけてきました。一緒に振り向いてみると、確かに濃いめの橙(だいだい)色が支所の建物やその向こうにある山を染めています。

もちろん、このような発見を驚きをもって嬉しそうに話してくれたこと自体、嬉しかったのですが、よくよく見ると、その子どもたちはウミネコ留学生です。「テングサ」という海藻自体も、海洋研修で「テングサ色」を知ったのも鹿島に留学してきてからでしょう。今ではすっかり鹿島っ子になり、朝焼けの色を映した建物や山々の色を、「テングサ色」と称した感性(「感動する心」)にほれほれしたのです。

* * * * *

今年度、本校のキャッチフレーズを「感動いっぱい」という表現に変更して、『笑顔いっぱい 感動いっぱい 夢がふくらむ鹿島小』にしました。これからの時代を生きる子どもたちに、日々の生活・学習、体験活動、読書等を通して「感動」を「いっぱい」味わわせたいとの思いからです。

しかし、その瞬間の「感動」は、すぐに消え去ってしまいます。「思考・判断・表現」してアウトプットしなければ、「感動」は残りませんし、他の人との共有もできません。

そこで、たくさんの「感動」を「思考・判断・表現」して絵や音楽や文章で表す活動を行っていますが、本年度は年間通して「俳句づくり」に力を入れて取り組ませています。

最初のうちは、ぎこちなかった作品も、今では、校外の「俳句コンクール」等で入賞するほどになってきました。(今月の「受賞おめでとう！」のコーナーをご覧ください。)季節の移り変わりを感じたり、昆虫や草花の変化に気付いたり、ぴったりの季語を見つけたりする経験をとおして、子どもたちの「感性」のアンテナは高く広く鮮度を高めています。そして、それを「五・七・五」というわずか17文字で表現するために、言葉を選び、時にはわずか一文字にこだわるようにまできてきました。

明治大学文学部教授の齋藤孝氏は、著書で次のように述べています。



- ・「驚く」ことが知のはじまり
- ・驚けるのは、実は教養があるからです。知れば知るほど、心の底から驚くことができるのです。知識がないと、何がすごいかわからない。ぴんとこない、ということになります。

学力向上は、学校の責務です。最大の目標です。そして、子どもたちに「本物の学力」を身に付けさせていくには、同時に、「驚く」、「感動」、そして、「知的好奇心」といった「感性」もさらに育てていく必要があると強く考えています。

2020年がもうすぐ終わります。年末、年始と家族で過ごす中で、どうか素敵な「驚き」や「感動」が生まれますように。そして、温かな年越しになりますように。

今年は大変お世話になりました。ありがとうございました。来年も変わらぬご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。どなた様も、良い年をお迎えください。

今月のかしまっ子



毎年恒例の地区コミ青少年育成部主催のミニ門松づくり。今年も世界で一つ！オリジナルの門松ができあがりました。

12月の行事より

校内人権週間(1~8日)

12月10日の世界人権デーに合わせて、鹿島小でも校内人権週間を設定し、各学級で授業等を通して人権について考えました。全校では自分や友達のよさを伝え合う『人権の木』の活動に取り組みました。「友達に書いてもらった自分のいいところ」を読む子どもたちは少し照れくさそうにしながらも、とてもいい表情をしていました。特に今年は、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見も問題になっています。自分もまわりの人も一人一人違うけど、みんなにいいところがあり、それぞれの違いを大切にすることを改めて実感する週間になりました。


5日(火)	子ども会 鬼火たき準備
7日(木)	子ども会 鬼火たき、ほら貝吹き
8日(金)	始業式(給食なし) いじめのない学校づくりの日
9日(土)	土曜授業日(小)
12日(火)	家庭学習(生活リズム)強調週間 朝のあいさつ運動(幼)身体計測 保育参観、授業参観
13日(水)	鹿児島学習定着度調査(5年:~15日)
18日(月)	学校給食週間(~22日)
21日(木)	子ども会夜回り(17:50集合)
22日(金)	中期交流(5・6年)
26日(火)	海星中入学説明会(6年児童・保護者) 全学年B校時5時間授業(14:45頃下校) (小中一貫合同研修会に参加のため)

租税教室(10日)

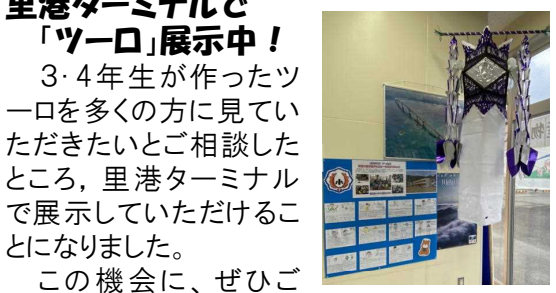


鹿島支所から さんを講師にお招きし、5・6年生が税の意義や役割について学ぶ「租税教室」を実施しました。身の回りで税金が使われているものを当てるクイズでは、なかなか区別がつかず、難しかったようですが、税のしくみや使われ方を丁寧に教えていただく中で、私たちの生活にいろいろと役に立っていることを知り、みんながよりよい生活を送るためのものと気付くことができました。子どもたちからは「自分たちの生活のいろいろな場所で税金が使われていることが分かって、びっくりした。」という感想を聞くことができました。

手打診療所の先生が甌島の子どものために本の寄贈を呼びかけ、それに賛同して下さった様より、「えんとつ町のプペル」という本を寄贈していただきました。(写真は預かって下さった鹿島診療所の先生です。)みんなで大切に読ませていただきます。ありがとうございました。



里港ターミナルで「ツーク」展示中！
3・4年生が作ったツークを多くの方に見ていただきたいとご相談したところ、里港ターミナルで展示していただけることになりました。この機会に、ぜひご覧ください。



☆受賞おめでとう！☆

第22回南九州市かわなべ青の俳句大会
入選 5年 T.S
「入道雲県境こえて別の雲」

第48回千代女少年少女全国俳句大会
入選 3年 H.K
「かみなりがネットをこわして大きわざ」
入選 5年 N.I
「ひまわりがたねをかかえて下をむく」

第71回県図画作品展
特選 4年 H.M
入選 2年 S.A 5年 T.S

第25回トンボ村芸術コンテスト
【俳句部門】NHK鹿児島放送局賞 2年 S.A
「夏の空夢の天はしーてん五キロ」
奨励賞 4年 H.M
「ツークゆれあのよの人もさとがえり」
入選 3年 N.H
「なみと風がんばれ大はしつなぐ人」
【絵画部門】入選 3年 I.M
「みんな大好き こしきミュージアム」
【書道部門】佳作 4年 K.K 「化石」

